



広報 みまた

発行・編集 北諸県郡三股町職員課 ☎52-1111 発行12月1日 No196

町民憲章 (昭和39年1月4日制定)

わたくしどもは、歴史に輝き山河うるわしい三股に生を受け、先人の協和と忍耐による郷土建設の偉業を継ぎ、郷土愛と開拓精神をもって、ここに明るく豊かな、明日の町づくりのためにこの憲章を定めます。

- 1 常に新しい希望をもって郷土の開発につとめましょう。
- 1 教育を尊び青少年を健やかに育てましょう。
- 1 環境を清潔にし健康の増進につとめましょう。
- 1 生活を工夫しよりよい風習をつくりましょう。
- 1 力をあわせねばり強く住みよい町を築きましょう。

三股町の花 サツキ・鳥 ホオジロ・木 イチョウ



自然の美を創る

中央公民館は住民の学習・文化・スポーツなどのグループやサークルが研修や実習の場として利用しています。

なかでも生け花をはじめ料理・書道・着物着付けなどの教室は年間を通して開かれています。

(写真：生け花教室)

60/12月号

三股町文化祭

町文化祭は11月3日・4日の2日間、勤労者体育センターを中心に盛大に開催されました。

勤労者体育センターには、園児、小・中学生、青年・婦人会、各種クラブなどから約2千点の作品が展示され、訪れた人たちは熱心に見入っていました。

一方、町体育館では、商工会員による各種商品展示即売会も行われ、多くの人たちで賑わいました。



健康相談コーナー



園児作品展



商工会商品即売会



料理展



書道展



青年による演奏



三味線合奏



文化協会による舞踊

青年祭
寸劇や舞踊を発表
町青年連協による第十三回青年祭(共催、文化協会)は、十一月四日三股小体育館で賑やかに開かれました。
祭は開会行事に引き続き、青年の意見発表が行われ、七地区青年の指宿信幸さんが「私と青年活動」と題して、青年活動を通しての貴重な体験を発表し参加者に深い感銘を与えました。
その後、青年がこの日のために練習した演奏、寸劇、演劇や、また、芸能活動に積極的に取り組まれている方々の民謡、詩吟、舞踊などが送られていました。



青年による田の神さあ踊り

文化賞に河野政則氏 善行賞で2団体を表彰



受賞者を代表してお礼を述べられる河野氏

三股町が今日のように発展してきたのは町民の皆さんのため、みなさんの努力によるものです。この発展のかけにあつて教育文化の向上、社会福祉の発展向上など、それぞれの分野で貢献された個人・団体を称える、表彰式が十一月三日の「文化の日」に中央公民館で挙行了されました。表彰式には町議会議員、教育委員、地区公民館長、各種団体代表者などの来賓約四十名をはじめ、町三役、課長が出席し厳

昭和六十年三股町表彰式

かに行われました。式は受賞者の功績紹介と表彰が行われた後、米賞を代表して議長と教育委員長、県議会議員の祝辞が述べられました。最後に受賞者を代表して河野政則氏が「私たちが本日的光荣に浴し得ましたことは、与えられた任務を大過なく遂行してきただけのことであり、これも皆さん方のご庇護によるものと深く感謝しているところであります。この受賞を契機に、更に地域社会や団体活動の発展のために微力ながら尽力したい」とお礼を述べられました。尚、受賞者名及び功績は次のとおりです。

河野政則氏(六十九歳) 文化賞(体育部門)

氏は、昭和三十年から今日まで弓道に精進され、その間、町弓道部顧問の要職をはじめ、都城市体育指導員を十四年間、弓道連盟都支部長を四年間、県弓道連盟監事五年間と、それ以外も弓道部員の心・技・体の錬磨はもとより、県弓道連盟副会長として、斯道発展に多大の功績をあげられており

ます。なかでも昭和五十四年十月に行われた第三十四回宮崎国体では、弓道の部の競技委員長として大会成功への大任を果たされ、また、昨年の第三十九回奈良国体では、本県弓道部の監督として参加され、チームを優勝に導かれました。

善行賞 玉城学園 都城東高等学校

貴高校は、昭和四十五年四月社会福祉への理解と関心を高めるため、全校生徒が青少年赤十字に加盟し、以来福祉施設への慰問をはじめ、清掃奉仕や小さな親切運動地域生活環境美化、献血推進など社会奉仕活動に積極的に取り組んでおられます。なかでも献血推進については、献血に対する正しい知識とその重要性を深く認識され、職員・生徒あげて率先、協力され



受賞者記念撮影

ております。その行為は社会福祉の向上、発展に大きく貢献されております。

善行賞 株式会社 宮崎シテイコ

貴社は、本町が勤めていた誘致企業として昭和四十九年四月に創設以来、設備の近代化や経営の合理化などで、順調な会社経営と雇用促進を図られ、社員が安全衛生思想の普及に積極的に取り組まれております。なかでも献血推進については、献血に対する正しい知識とその重要性を深く認識され、全社員あげて率先協力されております。その行為は社会福祉の向上、発展に大きく貢献されております。

飲酒運転の防止

酒酔い運転は死を背負った運転といえます。
酔っ払い運転はもうらんのごと、酒気帯び運転も道路交通法で禁じられていることは、ドライバーの皆さんは百も承知のはずです。それでも、車を運転してしまいう人たちの言い訳は……「あまり酔っていないかと思っただけ」とか「少ししか飲んでいないから」「自分は酒に強いから」などです。

しかし、いくらお酒に自信のある人でも、アルコールは体の機能に間違いなく悪影響を与えます。体が運転をするには適さない次のような状態になっていくということを忘れないようにしてください。

(一) 上手に運転していると錯覚する
気持ちが大きくなり、無理な追い越しや割り込みなどを平気でするようにになります。

(二) 居眠り運転をしやすくなる
アルコールには睡眠作用があります。アルコールは、人間の神経

などに麻酔薬と同じ働きをします。体が疲れているときなどは、知らず知らずのうちに居眠りをしがちになります。

(三) 注意力が散漫になる
周囲に対する気がばり、注意力が鈍くなります。そのため前の車ばかりに気をとられ、横から出てくる自動車や歩行者を見落とししたりすることが多くなります。

(四) 反応が鈍くなる
とっさの判断が鈍くなり、動作が遅れがちになります。つまり、前方の車が急ブレーキをかけてもそれに反応しきれず、追突したりしてしまいます。

(五) 運転動作がぎこちなくなる
アルコールでマヒした大脳は運動機能を低下させます。そのためハンドル操作やギヤ・チェンジなどがスムーズにできなくなり、蛇行運転をしたりします。

高、十二月から一月にかけては、何かとお酒を飲む機会が増えます。「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」を地域や職場、家族ぐるみで実践しましょう。

互いに相手の立場を考えて豊かな人間関係をつくろう

人権週間 十二月四日～十日まで

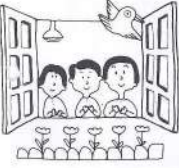
互いに相手の立場を考えて豊かな人間関係をつくろう——と、十二月四日から十日までの一週間は「人権週間」です。

「人権」と言うとき、何か難しいものや考えがちなもの、決してそうではありません。私たちが一人ひとりが社会のなかで幸福な生活を営むために必要な、人間としての当然の権利——それが人権です。

そして、子供からお年寄りまで、私たち一人ひとりの基本的な人権は、憲法によって保障されているのです。しかし、私たちの身の回りには、家庭内のいざこざをはじめ、近隣騒音など隣近所のもめごとから、婦人・障害者・同和問題に至るまで、人権にまつ様々なトラブルが起きています。

これらは自らの人権を主張する余り、他人の人権を顧みないために発生しているものであります。一方、基本的な人権思想の普及としての啓発重点目標は、「人権の共存」互いに相手の立場を考えて豊かな人間関係をつくろう——です。このほか強調事項として

- ◎ 部落差別をなくそう
- ◎ 日時 十二月九日(月曜) 午前九時～午後三時※ 地方労務局都支部会 三ツ園凸
- ◎ 場所 町老人福祉センター



図書館だより (第四号)

一、私たちの町立図書館は、1、昭和四十四年四月に設立開館してすでに十六年にもなる伝統ある図書館です。

2、昭和五十三年十一月には、「きめこまかなサービス網をめぐらして読書普及活動に尽くしている」ということで、県立図書館長より表彰されています。

3、蔵書は二万一千冊、部屋は広々として照度(ルクス)も充分、読書環境として最適な図書館です。

4、今年八月一日から十月三十一日まで(開館日 七十二日)も、三、六五八人がご利用されています。四、五三四冊の本を貸出しています。

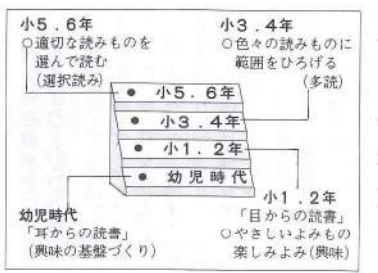
二、図書館は、資料提供の場、そしてコミュニケーションの場です。

「おじちゃん、これ何と読むの。」小学二年生の女の子が聞いた。教科書まんが事典「また、小学一年生の男の子が聞いた。「きみは名外野手」子どもたちが図書室で友だちと自習し読書するなかで自然にこい(コトバ)がふえてきます。三、くりかえし読む 三股小 五年 古沢 奈美

ノーベルをもう一回読んだ ノーベルの物語を二回読みました。どうしてかという、一回めはスウーッと読んだので、ノーベルが詩人になるか、研究に進むか迷った気持ちばかりありませんでした。二回読んでみて、ノーベルは「世界を変えた大業王」ということばがにあってと思いました。

※ 読書の本当の喜びは、「何度でもそれを読みかえすこと」にあります。古沢さんは、四年生の時から図書館にきていますが、カードは十一枚目(一枚のカードで二十七冊借れるようになっていきます)です。

四、読書のしつけは「二歩一歩階段をのぼる」と同じです。



いじめ問題の相談について

最近、いじめに起因する事件が発生し、少年のいじめ問題が大きな社会問題として取りあげられています。

都城警察署では、いじめ、家出、非行、その他の相談をお受けする少年相談窓口を設けています。お気軽にご相談ください。

◎ヤングテレフォン
03-3178740



年末・年始の防犯

年末・年始は、家を留守にすることが多いため、「あき果ねら」の被害が増えます。家をよつと留守にするときでも「カギ」をかけ、お隣りにひと声かけましょう。

明るい選挙をめざして一問一答

「会社等がする寄付の制限」について

◎ 公職の候補者等が関係する会社等である寄付の制限とは、どういうことですか?

◎ 公職の候補者等が役員、または構成員である会社、その他の法人、団体は選挙にかかわらず、その選挙区内の者に対して、その候補者等の氏名を表示し、または、その氏名が類推されるような



方法では、寄付することができません。ただし、政治団体に対してする寄付は認められています。

方法では、寄付することができません。ただし、政治団体に対してする寄付は認められています。

中年からの心の健康学 又トレスに打ち勝つ

あなたは、一つのこと熱中できずか？
仕事でも趣味でも、何かに没頭することできる人は、老年期に陥りがちな精神的に不健康な状態に対する素晴らしい予防手段を持つていることになりませう。

読書や音楽で頭を使おう

あなたが、一つのこと熱中できずか？
仕事でも趣味でも、何かに没頭することできる人は、老年期に陥りがちな精神的に不健康な状態に対する素晴らしい予防手段を持つていることになりませう。

脳を活性化させる読書

頭脳の若さを保つためには、絶えず知的刺激を与え続ける必要があります。

知的刺激を受けるには、目(視覚)と耳(聴覚)とがありまが、最も効果的なのは、視覚からとり入れる読書だといわれまます。

一般的にいって、読むより聞くほうが、ずっと楽です。しかし、それだけに人の話というのは、聞いているほうは受け身の状態のままです。

これに対して、読書は、自分に読むという意志があれば読むことはできません。理解しようという気持ちがあれば、読み続ける

ことができませぬ。

読書は、若さを保つ上で最も大切な能動的な態度を養い、これが刺激となって脳を活性化させるのです。

音楽を聴いたり

時には自分で演奏を、脳の老化を防ぐという観点から、ぜひお勧めしたいのが音楽を聴くことです。

いや、聴くのもいいのですが、さらに効果的なのは、できれば自分で演奏することです。

音楽を自分で奏するためには、大脳のいろいろな機能を用いることが必要になります。音譜を読む視覚、音符の記憶、それを理解する知能などを、どんどん刺激します。さらに演奏するためには、手や指を動かさなくてはなりません、このことも脳に刺激を与えます。絵や彫刻についても同じことがいえます。

うまい、へたは考える必要ありません。要は、あなたの方法でやってみることで、意外な面で自分の隠れた才能を発見し、人生が楽しくなるかもしれませぬ。それが同時に、老化防止につながるのですから文字どおり一石二鳥といふことですね。

堀之内先生(代議員)が 本町を公式訪問



現地視察での堀之内代議員

衆議院議員の堀之内先生は十一月十一日本町を公式訪問されました。

先生は午後二時後場玄閣前で町三役、議会議長らの出迎えを受けられた後、町長室で三夜及び議長等と親しいあきつを交わされました。その後、中会議室で来年度本町が計画している主要事業(都市計画、建設、農地、教育委員会など)の内容説明と陳情を受けられました。

引き続き大会議室において、町議会議員をはじめ農業委員、各機関の代表者約五十名を前にして、政府が

子どもの健全育成 をめざして

町PTA研究大会

町PTA協議会会長平川英輔では、「子どもの健全育成をめざして」を研究テーマとして、十一月十日梶山小学校でPTA研究大会を開催しました。

子ども達が心身ともにたくましく健やかに成長するためには、教師と父母が手を取り合って健全育成にふさわしい環境をつくることにあります。そこで学校・家庭教育にかかわる諸問題とらえ、望ましいPTA活動の進め方を研修すると共に、会員相互の連帯意識を高めようといわれたものです。

開会行事では、会長あいさつの



有意義なPTA研究大会

後、PTA活動の発展に尽力された六名が表彰されました。その後、「子どもの健全育成をめざして」をテーマに、県立みやぎさき学園園長日高一典氏が事例を通しての講演に参加者はメモを取りながら熱心に聞き入っていました。

引き続き六分科会の研究テーマに別れて、助言者の指導を仰ぎながら活発な意見が交換されました。尚、表彰者は次のとおりです。

(敬称略)

畑中辰夫(三股小 福次子 勝岡小)
谷口城翁(梶山小) 工藤完治(宮村小)
福井茂人(長田小) 前田政治(三股中)

歳時記

すすきはひら

最近は何年にもなると、団地やマンションの郵便受けに、「ハウス・クリーニング」というパンフレットがひんぱんに投げ入れられます。

「ガラス、床、バス、トイレ、キッチンなどどこでも、クリーニング」といううたい文句、つまり掃除いたしますという新商売です。

正月を迎えるからには、住居もきれいにしたい、でも暇がないという共働きの主婦などに受けているようです。

一昔前なら、すすきはらいといって、暮れに一家をあけて大掃除をして、ふだんは手の届かない天井のすず、床下のゴミまで取り払って家の中をすっきり清めたものです。しかし、いまは子供も塾通いで多忙だったりするためでしょうか、そういう光景はあまり見られなくなりました。

このすすきはらいは、いまも神社などの行事として行われています。たとえば東京の明治神宮では、毎年十二月二十八日に、

掃除の儀として神職数名がおはらいを受けたのち、葉のついた長い竹で、神殿の礎などをはらい清めるのだそうです。

昔は御神灯はロウソクだったので、受け皿にすすがたまりました。しかし、いまはロウソク型の電気なので、すすはあまりませんが、こうした行事は残っているわけです。

ところで、正月が近づくと、掃除も大切ですが、料理の用意も急がなければなりません。年末には、多種類、大量の食品が出回りますので、厚生省では、十二月を「食品・添加物等の年末一斉取締り」とし、食品関係者を対象に、一斉取り締まりを行います。

この取り締まりは、特に、食肉製品、魚介加工品、生菓子などを重点に、保存温度、添加物表示などをチェックします。

わたしたちも、この時期の食品衛生には、特に注意したいものです。



青少年を健やかに育てようと呼びかけ

県青少年育成県民会議が主催する青少年保護育成キヤラパン隊が十一月十一日本町を訪れました。

これは十一月の「全国青少年健全育成強調月間」にちなみ、その趣旨を広く住民に理解してもらおうと行われたもの。隊の一行(約二十名)は、午前九時三十分後場玄閣前で、県民会議事務局長のあいさつ、総務長官のメッセージの手交、地元町民会議を代表して森保正さんの決意発表などが行われました。

その後、一時間半にわたり青少年を健やかに育てようと呼びかけをリードしました。



子どもの声を聞く会 8名が意見発表



町と町青少年育成町民会議が主催する「子どもの声」を聞く会が、十一月三日中央公民館で開かれまし
た。
これは、子どもの描く人間像、並びに子どもの家庭生活、学校生活、友人関係、及び郷土について日ごろ考えていることや、将来についての意見を発表しあい、もって今後、行政と町民会議とが一体となり青少年育成の向上を図るものです。
同聞く会には、町三役をはじめ、関係機関、団体などから約六十名が出席しました。発表する児童・生徒は三股中学校と三股小学校か



三股小 6年 上 徳 豊 和
僕はこんな学校にしたい

らは二名ずつ、他の小学校からはそれぞれ一名の代表が切実に訴え参加者に深い感銘を与えました。尚、意見発表者は次のとおりです。(敬称略、発表順)
○僕はこんな学校にしたい
三股小 六年 上徳 豊和
○私はこんな人になりたい
三股小 六年 森 恵美
○僕の目標
勝岡小 六年 猿渡 康介
○私のやりたい職業
梶山小 六年 別納ゆう子
○私はこんな学校にしたい
長田小 六年 大田原雄孝
○私はこんな学校にしたい
宮村小 六年 上石 夏子
○私はこんな人になりたい
三股中 三年 松谷 浩樹
○私はこんな友達か関係をつくりたい
三股中 三年 神宮司亜弓
今月号から発表者順に掲載していきます。

僕は、三股小をちりひとつない環境の良い学校にしようと思います。それは、いつも先生に「いつも掃除時間にストロウの袋が落ちてやるよ」と、この頃毎日のように言われるからです。それに、スクリームの袋が二、三個落ちているのを見つめます。平気でこういうことをするのだから学校でちりを投げ捨てるとも平気なのだろうなあと思います。
僕も、家でちりを投げたりすると、ときどき注意されます。
ちりを平気で投げ捨てるような人の家は、部屋の中がちりで一杯になっているのだろかなあと思います。ちりを投げ捨てることは良くないことだし、ききたいので、ぜひ気を付けて止めさせなければならぬと思います。
僕たちの学校には、運動場のあちこちにちり箱が置いてあります。だから、ちりが落ちてくることに気がいたら、拾って近くのちり箱に入れたらよいのです。
また運動場で遊んでいて、ときどき芝生の所に行くとき、足に「ねちや」とくっつくものがあります。よく見ると、チューインガムの吐き出したものです。運動場に遊びにきた友達拾ったものでしょう。靴などにつくとみぞに食い

昭和60年度 三股町 児童・生徒



三股小 6年 森 恵 美
私はこんな人になりたい

しかし、このことは時間がかかるかもしれませんが。上級生としての僕たちが根気づよく頑張つて、「ちり拾い」の一言をかけ合いながらやっていくことを続けようと思います。そうして、いこううちに、校内にちりの落ちていない美しい三股小学校になると思います。

私が望む将来の自分は、「気が長く心が広い人」です。日常生活の中で私は、自分の性格、つまり欠点や少しづつ分かってきました。その欠点とは、「気が短かく口よりの手が先に出る」ということです。それは、自分で望んでいる人物像とは全く反対なのです。だから将来の理想の人物は「気が長い人」

となつたのかもしれない。このことは毎日の生活で両親また周りの人を見て、考えたことでもありません。
私の家の父の湯のみ茶わんには「気」という字が長く書いてあり「腹」という字がねかせて書いてあります。私は疑問に思い父に聞いてみました。するとその意味は「人は気を長く腹はたてず」という意味でした。湯のみ茶わんに「気が長い」というようなことが書いてあるということは人間はみな、「人」を思いやる気が長い人」そのような人物にあらがれているように思えます。
父は昔、気が短かかったそうです。私も父の短気はうすうすとおぼえています。でも今は自分の努力で気が長くなってきたそうです。父は三十八年生きてきて「気が短いことはこの世の中で生きるのにどんなに不便かわかる」と言っています。夜に酒を飲みに行き、よつたいきおいで少しのことで腹を立てけんかを何回もしたそうです。そのたび父は、自分に「けんかをしても何もないことはない。自分をだめにするだけだ。損をするだけだ」と言い聞かせたのだそうです。そんなこともあってか父は、今やっと自分のことを満足できるようにになったのだそうです。

父の話聞いて私は、今の自分が若いころの父と似ていると思いました。それは私の弟に対する態度にあります。私には今、二人の弟がいます。私のすぐ下の弟はもう四年生で私のいう事を聞きません。何か私が言うとも言い返してもしません。私も少し返すことがありますが、もう少しでも弟のことがしていかうかかるとパシッとしてしまっています。弟をたたいた後の私の気持ちは、けつていい気持ちではありません。弟に対して悪いことをしましたという気持ちでいっぱいになります。いつか見た本の中にのっていたことわざで、「後悔さきにたたず」というのがありました。この時のような気持ちのことだろうなと思います。こんな時は自分のいやな性格は直そうと思うのです。直そう、直そうと思っても少しの時間では直らないものです。父も、長い経験そして失敗をたくさん重ね努力してきたのですから……
父の話からもわかるように、性格を直すことはとてもむずかしいことです。でも目標に向かって努力しようと思います。
それにはまず第一に、弟に対する態度を直そうと思います。
今まで、私と弟は少しづつけんかにとつて都合が悪いとすぐけんか



込んでよほど擦らないと取れないし、足についてもべとべととして、取りにくいです。こんなこともやっぱちりの投げ捨てと同じだと思います。ガムはちゃんと自分で包み紙に包んでちり箱に捨てるようにしてほしいと思います。
こんなことをしないように、一人ひとりが気を付けられればよいのですが、なかなかよくなりません。そこで、代表委員会が話し合うことになりました。僕は児童会の三役なので、ちり一つ落ちていない学校にするために、いろいろ出された意見を実行できるように働きかけたいと思います。
たとえば、放送委員会の人にたのんで、ちり拾いのことを全校のみんなに放送で呼びかけてもらったり、生活安全委員会の人も、危険物を拾うのが協力してもらおうように話し合ったりして実行していきます。六年生の委員会の友達がちり運動をしている姿を見て、低学年も「ちりを落としたり悪い」とか、「自分もつられてちりを拾う」とか、少しづつ分かってくれるのではないのでしょうか。
このように全校のみんなが自覚していけば、教室や廊下、校庭や運動場などちりが一つも落ちていない清潔な学校になると思います。

肥育牛の肉質向上をめざして

町肥育牛部会長・久保康弘)では、十一月八日枝肉共励会をくみあい食肉センター・高崎工場で開きました。これは肥育牛の飼育管理と肉質改善の向上を図るため、毎年行っているもので、十八名の会員が枝肉として三十頭を出品。日本食肉格付協会の審査員が一頭ずつ、均称、肉付、脂肪交雑、肉色などを検査しながら格付していました。尚、成績は次のと



- おりでした。
- 一位鈴木治明(梶山)
 - 二位福永 昇(豊池)
 - 三位別所幸一(甲上)
 - 四位久保康弘(甲上)
 - 五位大村清水上(米)

“ありがとう” 117名が献血に協力



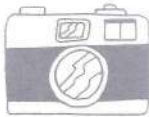
日本赤十字血液センターの採血車「いずみ号」が、十一月十一日本町に訪れ役場で採血が行われま

した。役場玄関前で午前九時三十分から午後四時までの間に、職員や一般住民百三十二名が申し込み百十七名が献血に協力いただきました。近年、交通事故や事業所内での不測の事故医療技術の進歩などに伴って血液の需要は、ますます増え輸血によって尊い生命が救われています。今後とも皆様のご協力をお願いします。

町老人クラブ大会 盛大に開催



町老人クラブ大会は、さる十月二十五日町体育館に約七百四十名が参加して盛大に開かれました。会長のあいさつの後、老人クラブの組織育成に貢献された永年功労者、わたきり老人介護者など五名が表彰されました。その後、アトラクション



として各地区の高齢者クラブによる民謡・舞踊などが披露されました。尚、表彰者は次のとおり

- ◎ 老人クラブ永年功労者 時任重秋(下老)横山 要(梶山)
- ◎ わたきり老人介護者 飯屋キヨ(田上)永井キミ(梶山)
- ◎ その他表彰者 中山ミ子(谷)

福祉スポーツ大会 相互の親睦を深める

町社会福祉協議会が主催する第十回福祉スポーツ大会は、さる十月二十五日武道体育館で盛大に開催されました。

これは福祉団体が一堂に会し、スポーツを通じて連帯意識の高揚を図ると共に、相互の親睦を深めようといわれたもので、老人クラブをはじめ、母子会、遺族会、民生委員、老人ホームなどから約一千名が参加しました。競技は参加者を各団体や地区毎に十チーム編成し、びん倒しや玉入れなど団技を中心に行われ楽しいひとときを過ごしました。なかでも、応援参加したわかば保育園児のマーチングバンドには、盛んを拍手が送られていました。



川をきれいにしようと呼びかけ

十一月六日大淀川をきれいにしよう、キャラバン隊が本町を訪れました。大淀川流域の市町村で構成する、大淀川水質汚濁防止連絡協議会の一行約三十名は午前十一時三十分役場に到着。玄関前で県環境保健部次長が「水はいろいろの面で私たちの暮らしを支えています。……キラキラ光る清流を呼びもじ(と)」と声明文を読みあげました。その後、チラシとゴミ袋の交付を受けました。私たちがも生活、産業排水などの雑排水を少なくし、川をきれいにしたいものです。



優等一席に初森・園田・田口さん
昭和六十年度十一月期和牛品評会は、さる十一月一日畜産センターで開かれました。生産者が飼育している五十頭が出席されました。尚、審査の結果は次のとおりでした。

子牛の部

- 初森政行(餅原) 川畑正昭(前目)
- 谷口斌翁(梶山) 園田又男(小鷺巣)
- 中石勝美(谷)
- 育成一類 園田鎮也(小鷺巣) 中内虎美(中米)
- 育成二類 田口善征(前目) 下牧 満(餅原)



いも掘りを楽しむ

町SAP会議(松崎清一会長ほか十名)が主催するいも掘り大会は、十一月八日町内の保育園児を招いて花見原で開かれました。これは園児たちに土に親しみ、収穫の喜びを味わってもらうというものです。町土地開発公社から借用の甘しょ(コガネセンガン)畑には、園児たち約二百十名が袋を片手に集まりました。大会は開会式に続き、いも掘りコンテストの合同で始まり、どろんこになりながらつるを引き上げ、大小のいもに歓声を上げていました。



ハイキング大会でさわやかな汗

地域住民と触れ合いの場をつくらうと、町職労青年・婦人部が主催する第四回ハイキング大会が、十一月三日盛大に開催されました。当日は好天に恵まれ、大会は五本松公園から上米公園までをAコース(約十キ)・九時とBコース(約六キ)・九時三十分とに別れてスタート。幼児からお年寄りまで八百七十六名がトレパン、運動靴などの軽装で参加し、ゴールの上米公園まで全員が完歩しました。公園では弁当に舌つづみをうち、その後、みんなでレクリエーション(くじびき大会、大声絶叫大会、ひよつとご踊り)などをして楽し

今月の主な行事



日 行事名 場所

- 二 日(月) 乳母相談(乳幼児) 中央公民館
- 三 日(月) 婦人ガン検診 武庫体育館
- 四 日(月) 母子保健教室(妊婦) 中央公民館
- 五 日(月) 健康相談と栄養改善教室 山王児童館
- 六 日(月) リハビリ教室 福祉センター
- 九 日(月) 特設入権相談 福祉センター
- 十 日(月) 健康相談と栄養改善教室 第三地区公民館
- 十一 日(月) 健康相談と栄養改善教室 第四地区公民館
- 十二 日(月) 母子検診(妊婦、乳児) 中央公民館
- 十三 日(月) リハビリ教室 福祉センター
- 十四 日(月) リハビリ教室 勤労者センター
- 十八 日(月) 二種混合 勤労者センター
- 二十 日(月) 町内一斉点検

今月の納税
保険税
4期

1月は県町民税4期・
保険税5期の納期です

たばこは町内で
買いましょ

町の大きな財源の一つにたばこ消費税があります。
このたばこ消費税は、私たちが毎日買っているたばこの売上金によって、日本たばこ産業株式会社から納付される税金です。したがってたばこ小売店の売上げが多ければ、多い程、納付されるたばこ消費税も多くなります。
昨年度、本町に納入されたたばこ消費税は七千二百三十六万円の多額に上りました。今年度も当初予算に六千七百万円を見込んでいます。

町に納入された税金は、町民が豊かな生活ができるよう、生活環境の整備や各施設事業に使われており、私たちの郷土を伸ばすために、たばこ一本が尊い財源となっています。
町民の皆さん、たばこは町内で買うように心掛けてみましょう。

歳末たすけあい
運動にご協力を

「わかちあう幸せ」をスローガンに、十月から行われている赤い羽根共同募金。そのしめくくりとして十二月に行われるのが、歳末

たすけあい運動です。昨年はこの一ヶ月間全国で約七十五億円の寄付金が集まりました。
今年も目標額、約六十八億七千万円を目指し、募金運動が行われます。

集まった寄付金は、ひとり暮らしの老人や寝たきり老人、手足の不自由な人などへの福祉のために活用されます。
一人でも多くの方が明るいお正月を迎えられるよう、あなたのお幸せをわけてあげてはいかがですか。

水道管にも
冬したくを

冷え込みが厳しくなるにつれて心配なことは、水道管の破裂事故です。
気温が急激に下がり、氷点下の寒さが続くときは、給水装置の露出部分、特に、北風のあたる給水管や給水栓などが凍結して破裂します。

凍結を防止するには露出部分を布か縄などで保護しましょう。
高、修理等についてはお問い合わせは左記へご連絡ください。
役場水道局 ☎五二一—一—
(内線四十八番)
町水道組合 ☎五二—二—三九

愛の「寄付

三股町社会福祉協議会では、忌明寄付を次の通りいたしました。故人のご冥福をお祈りいたしますと共に、社会福祉進展のために有意義に利用させていただきます。誠にありがとうございます。
昭和六十年十月一日から
昭和六十年十一月十六日まで

| 寄付者 | 続柄 | 故人名 | 地区 | 金額 |
|--------|----|-----|------|-----|
| 原口 庫市 | 母 | フヂエ | 上米 | 二万円 |
| 上之園 兼利 | 息子 | 忠治 | 蓼池 | 二万円 |
| 内村伊之助 | 妻 | カネ植 | 本二万円 | |
| 中村 セツ | 次 | 近春 | 餅原 | 一万円 |
| 本村 トシエ | 夫 | 重政 | 田上 | 二万円 |
| 畑中 ハツ子 | 夫 | 光則 | 山王原 | 一万円 |
| 倉園 正妻 | | 哲子 | 小きす | 一万円 |
| 持留 金一妻 | | なみ子 | 飯屋 | 二万円 |
| 池内 進太郎 | 母 | ミエ子 | 小きす | 一万円 |
| 飯田 直幸 | 叔母 | 桜水 | 老入中 | 二万円 |
| 今村 明生 | 母 | ハル | 前日 | 三万円 |
| 川原 敏彦 | 母 | 柳橋 | ト仲 | 一万円 |
| 森 隆二 | 母 | ハツエ | 上新 | 三万円 |
| 中原 士雄 | 父 | 武光 | 上米 | 一万円 |

三股町の人口

昭和60年11月1日現在
人口18,850人 出生30人
男 8,949人 死亡10人
女 9,901人 転入64人
転出61人
世帯数 5,925戸
前月比+23人